

り、両手を左右に離して共に上へまらく籠の形を描く。

騒ぐ 掌を前に向けた手の甲を口もとにつけ、五指の指頭を集め合せては開き、開いては集める運動をくり返す。「わめく」こと。

散会 「会」の手まねをして、両手で左右に「去る」手まね。

参観 「探す」と同じ手まね。見て廻ることを表わす。

参詣 寺神社を拜む。

賛成 右手を挙げる。

産婆 生む一介抱一女

散髪 ジャッキを持った手つきで、髪の上を刈る身振り。

散歩 指頭を下にさした両手の人差指を前にならべて、足を運ぶように交互に前に徐うに進ませる。

算術 人差指中指薬指で三の数を表わして

指頭前方に掌を上向けた両手を左右からかち合わせて（互の掌の脇がつけ合う）は、左右に離す運動を二三度くり返す。互の数（三）を合わせては離す加減算術。

残念 「遺憾」と同じ。

シ

死（死ぬ）合掌した両手をそのまま、横たえる。

試合 「競う」と同じ手まね。

思索 両腕を胸に組み、「考える」の手まね。

週間 左の手で数の「七」を表したのを、右の手の人差指を、その「七」の周りをぐるりと一周させて、「一」の数を数わすと一週間となる。週間なら、二週間一・二。

○一週間を、寝る一七としてもよい。二週

間ならば、寝る七一―。

姑 夫―(或は妻)―母

甥 夫―(或は妻)―父

塩 白―辛―砂

銃 両手で銃を持ちかまえて、右手の人差

指で引金を引く身振。

鹿 頭の上右寄りに、左右両手を上下にし

て鹿の角の枝形を模写する運動。

仕方がない かまわない―諦める。

しかし 五指の指頭を前方にさし下に向け

た掌をくると上向けに反転させる。

叱る 指頭を上にした親指を前に押しつ

けるように突き出す。

叱られる 「叱る」の親指を自分の額の上

に押しつけるようにする。「叱る」の受身の

形をする。

時間(時刻) 右の手の親指と人差指。そ

の親指の方を(左の手に握らせて(左手の親

指と人差指の間に右の親指をさし入れ姿た

態)時計のネジを巻くように握られた親指を

軸にして人差指を廻転させる。右の人差指は

時計の針の廻る心得。「時計」の手まねにも

なる。

「今何時ですか」今―時間―いくつ。「い

くつは、右手の親指より順に五指を折って行

く。

「今は三時です」今―時間―三

式 掌を前に向け五指の指頭を上にした

両手を胸の前で前後に並らべて同時に五指を

曲げる。列席者が一同敬礼する様を模写した

もの。

始業 (イ) 習う 始める。(ロ) 仕事―始め

る。

試験 「試みる」と同じ手まね。

地獄 鬼―国

仕事 掌を上向け、五指の指頭を左にさし